

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 26 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 38 スポーツ・レクリエーション活動の推進				
部章節No.	第4部 第2章 第2節	評価担当部	教育委員会	関連部局	建設部
総合計画書掲載頁	147 頁	記載責任者	佐藤隆男		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	豊かな人間性を育む文化のまちづくり			
	施策の分類【章】	活発で個性豊かな文化づくり			
施策の目的 (基本方針)	誰もが生涯を通じてスポーツやレクリエーションに親しむことができるよう、身近な活動機会と指導体制の充実をはかり、健康づくりからスポーツ技術の向上まで、広くスポーツ・レクリエーションの普及につとめます。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	・ 体育協会やスポーツ推進委員との連携を図りながら、スポーツ参加者のすそ野を広げるとともに、スポーツ技術の向上とスポーツ活動の普及につとめています。 ・ 町のスポーツ施設は、第1号公園、田代運動公園、三増公園などが整備されているほか、学校体育施設の開放や厚木市・愛川町・清川村の3市町村による広域利用を行うなど、スポーツに取り組みやすい環境づくりにつとめています。
法令・制度 の変更	
施策の課題	・ 高齢化が進む中、誰でも参加できるスポーツや健康づくりと結び付いたスポーツの普及など、保健行政との連携をさらに進めていく必要があります。 ・ 老朽化が著しいスポーツ施設の改修が必要となっています。

3 施策の成果指標 (基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。)

住民満足度	指標 (単位)	総合計画 策定時	中間値 (26年度)	目標値 28年度	達成度
	『スポーツ・レクリエーション活動の推進』について「満足」と感じる住民の割合	36.7 %	34.9 %	42.0 %	B

主 な 目標指標	指標 (単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	スポーツ施設の利用者数 (人)	増	477,142	367,884	385,516	352,464	500,000	C
								—
								—

4 施策の活動指標 (「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。)

主 な 活動指標	指標 (単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	少年団事業及び単位団の活動事業回数	増	9	8	9	9	9	A
								—
								—

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	A			
2	生涯スポーツの振興	B			
3	スポーツ・レクリエーション環境の整備	B			

6 総合評価

成果指標評価	C	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	B
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価	B (自動判定)	➡ 構成事務事業の見直しが必要な施策です。
	総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点を踏まえて分析してください。）	
	・施策の成果指標である「スポーツ施設の利用者数」が平成25年度は前年度より33,000人程度減少していることから、達成度は「C」となっているが、有料公園施設の利用者数については、天候に左右されるため単純に比較することはできない。 ・各公園のスポーツ施設は老朽化が進んでいることから計画的な改修が必要だが、財政状況が厳しいため思うように改修ができていない状況である。 ・利用者が少ない三増・坂本プールについては費用対効果が低いため、今後のあり方について検討が必要である。	

7 今後の方向性

方向性	☐ 現状維持 ☒ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☐ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	施設の適切な維持管理に努めるとともに、利用者が少ない三増・坂本プールのあり方について検討する。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]